

AK 勉強会 大阪 2015

AK 入門・AK シノプシス・AK フローチャートマニュアルの翻訳者で、AK 第一人者の栗原 修DC直接指導による本勉強会は、受講者がよりAKに親しみやすく、学びやすく、且つ、臨床で有効に活用できるよう、カリキュラムとその教授法に工夫がなされています。プロジェクター画像、ハンドアウト、デモンストレーション、実技指導によりAK理論とテクニックがわかりやすく教授されます。

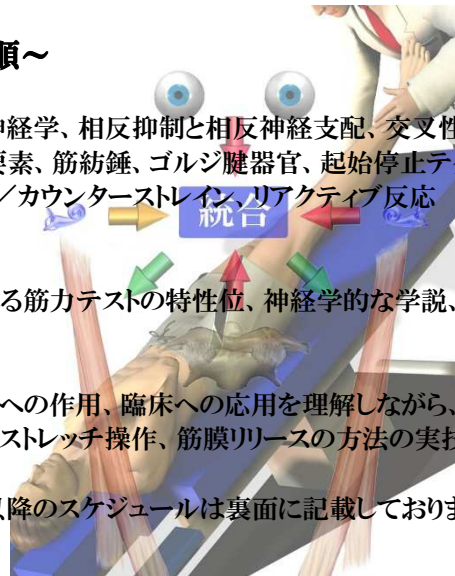
第1回目:2015年4月19日(日) ~AKの基本操作の原理と手順~

筋の機能障害が及ぼす影響、筋収縮の促進と抑制、拮抗作用、筋力テストの神経学、相反抑制と相反神経支配、交叉性伸展反射、セラピーローカリゼーション、チャレンジ、椎間孔5つの因子、健康の三要素、筋紡錘、ゴルジ腱器官、起始停止テクニック、筋紡錘、ゴルジ腱器官の神経学、筋ストレッチ反応、筋膜リリース、ストレイン/カウンターストレイン、リアクティブ反応
 ・筋力テスト:ハムストリング筋、大腿四頭筋、大腿筋膜張筋

・第1回は、AKの基本的な考え方、歴史、手順などを説明します。AKで使われる筋力テストの特性位、神経学的な学説、筋機能を評価するための手順の説明実技を行います。

・各筋の筋力テストでは、解剖、起始停止の触診、筋力テスト時の協力筋、関節への作用、臨床への応用を理解しながら、筋力テスト、筋機能障害に関与する因子の検査、ストレイン/カウンターストレイン、筋ストレッチ操作、筋膜リリースの方法の実技を行います。

[第2回目以降のスケジュールは裏面に記載しております。]



●時間 9:00~15:00(昼休憩1時間)

●講師 栗原 修DC クリーブランドカイロプラクティック大学 ロサンゼルス校 卒業
 国際アプライド・キネシオロジー協会(ICAK)会員
 Welcure ebisu 代表/Kカイロプラクティックオフィス院長

●会場 国際カイロプラクティックカレッジ
 〒578-0921 大阪府東大阪市水走1-17-6 近鉄けいはんな線吉田駅下車/東へ徒歩5分

●受講費 参加費:一般一括:150,000円 / 学生一括130,000円 / 各回:17,000円
 ※いずれも配布資料代含む、昼食代別(要 注文)

●お申し込み方法

下記欄に詳細を明記の上、FAXまたは郵送にてご送信ください。下記ホームページからでもお申し込みいただけます。お申し込みの受信確認後、納付書を送付致します。納付書に記載された期日までにご入金下さい。

国際カイロプラクティックカレッジ『AK勉強会 大阪 2015』係まで
 TEL: 072-965-2221 FAX: 072-961-8171 E-mail: info@osaka-icc.jp http://www.osaka-icc.jp

.....お申し込みフォーム(FAXの場合は切り取り不要).....

『AK勉強会 大阪 2015』受講申し込みフォーム お支払い方法【一括・分納】昼食弁当540円【注文・不要】

氏名	(ふりがな)			
屋号		資格		
住所	〒 -			
電話番号		FAX	E-mail	

*個人情報の守秘義務を固く遵守します。

AK 勉強会 大阪 2015 スケジュール

第1回:4月19日(日)は表面に記載しております。

第2回:5月17日(日)～AKの頭蓋療法～

頭蓋骨、脳脊髄液、硬膜の解剖学、各頭蓋骨の動き、頭蓋治療:触診法、実技、吸気/呼気補助頭蓋障害

- ・筋力テスト:大腰筋、腸骨筋、大殿筋、中/小殿筋、内転筋群
- ・第2回は、頭蓋が中心になります。頭蓋の解剖学(髄膜、脳脊髄液)、各頭蓋骨の動き、頭蓋骨の動きの原理などを説明し、実際の動きの触診を行います。更にAK頭蓋骨テクニックの説明実技を行います。
- ・各筋の筋力テストでは、解剖、起始停止の触診、筋力テスト時の協力筋、関節への作用、臨床への応用を理解しながら、筋力テスト、筋機能障害に関与する因子の検査、ストレイン/カウンターストレイン、筋ストレッチ操作、筋膜リリースの方法の実技を行います。

第3回:6月21日(日)～骨盤、股関節、膝関節の筋機能とバイオメカニクス～

股関節、膝関節障害と筋機能、他の部位へのバイオメカニクスによる影響、経絡基礎、肺経の関連筋とポイント、大腸経の関連筋とポイント

- ・筋力テスト:縫工筋、薄筋、梨状筋、腓腹筋、膝窩筋
- ・第3回は、第3回までに習得した筋による骨盤、股関節、膝関節への影響を考慮しながら、骨盤、股関節、膝関節のバイオメカニクスを説明し、疾患への応用を説明し、実技を行います。この回から12経脈を含む経絡の説明を開始します。経絡の考え方、AKによる捉え方を説明し、2つの経脈の特徴、走行、重要なポイントなどを説明していきます。
- ・各筋の筋力テストでは、解剖、起始停止の触診、筋力テスト時の協力筋、関節への作用、臨床への応用を理解しながら、筋力テスト、筋機能障害に関与する因子の検査、ストレイン/カウンターストレイン、筋ストレッチ操作、筋膜リリースの方法の実技を行います。

第4回:7月19日(日)～AKの神経学的統合の評価法～

神経学的統合不全、歩行時の促進、抑制、ショックアブソーバーテスト、神経学的統合不全の原因の検出法、関連性の深い問題、関与する問題、胃経の関連筋とポイント、脾経の関連筋とポイント

- ・筋力テスト:上腕二頭筋、上腕三頭筋、烏口腕筋、僧帽筋、広背筋、腹筋
- ・第4回では、AKの筋力テストにかかわる神経学的な異常(立位)を説明し、検査法と治療法を説明し、実技を行います。前回に引き続き次の2つの経脈の特徴、走行、重要なポイントなどを説明していきます。
- ・各筋の筋力テストでは、解剖、起始停止の触診、筋力テスト時の協力筋、関節への作用、臨床への応用を理解しながら、筋力テスト、筋機能障害に関与する因子の検査、ストレイン/カウンターストレイン、筋ストレッチ操作、筋膜リリースの方法の実技を行います。

第5回:9月20日(日)～AKの立位と歩行時の神経学的統合～

PRYT、基本単位の統合の検査、歩行テスト、歩行時の筋の統合した運動、心経の関連筋とポイント、小腸経の関連筋とポイント

- ・筋力テスト:大/小菱形筋、肩甲挙筋、前鋸筋、大胸筋胸骨部、大胸筋鎖骨部、小胸筋
- ・第5回では、AKの筋力テストにかかわる神経学的な異常(立位、歩行)を説明し、検査法と治療法を説明し、実技を行います。前回に引き続き次の2つの経脈の特徴、走行、重要なポイントなどを説明していきます。
- ・各筋の筋力テストでは、解剖、起始停止の触診、筋力テスト時の協力筋、関節への作用、臨床への応用を理解しながら、筋力テスト、筋機能障害に関与する因子の検査、ストレイン/カウンターストレイン、筋ストレッチ操作、筋膜リリースの方法の実技を行います。

第6回:10月18日(日)～肩関節の筋機能とバイオメカニクス～

肩関節障害と筋機能、他の部位へのバイオメカニクスによる影響、インピンジメント症候群、上腕肩甲リズム、膀胱経の関連筋とポイント、腎経の関連筋とポイント

- ・筋力テスト:肩甲下筋、棘上筋、棘下筋、小円筋、大円筋、三角筋
- ・第6回では第4回からの筋、肩関節周囲の筋の肩関節バイオメカニクスを考慮して、肩関節疾患への応用を説明し、実技を行います。前回に引き続き次の2つの経脈の特徴、走行、重要なポイントなどを説明していきます。
- ・各筋の筋力テストでは、解剖、起始停止の触診、筋力テスト時の協力筋、関節への作用、臨床への応用を理解しながら、筋力テスト、筋機能障害に関与する因子の検査、ストレイン/カウンターストレイン、筋ストレッチ操作、筋膜リリースの方法の実技を行います。

第7回:11月15日(日)～足、足関節の筋機能とバイオメカニクス～

足部障害と筋機能、他の部位へのバイオメカニクスによる影響、回内足、マグネット反射、心包経の関連筋とポイント、三焦経の関連筋とポイント

- ・筋力テスト:前脛骨筋、後脛骨筋、長、短腓骨筋、第3腓骨筋、長、短母指屈筋、ヒラメ筋
- ・第7回では、足部のバイオメカニクスと筋機能の関連、臨床への応用を説明し、実技を行います。前回に引き続き次の2つの経脈の特徴、走行、重要なポイントなどを説明していきます。
- ・各筋の筋力テストでは、解剖、起始停止の触診、筋力テスト時の協力筋、関節への作用、臨床への応用を理解しながら、筋力テスト、筋機能障害に関与する因子の検査、ストレイン/カウンターストレイン、筋ストレッチ操作、筋膜リリースの方法の実技を行います。

第8回:12月20日(日)～リンパ循環と大腸(回盲弁症候群)～

リンパ循環からの影響、逆行性リンパテクニック、横隔膜、回盲弁の機能と障害、検査と治療、頭蓋治療:蝶形後頭底結合-吸気/呼気補助障害、側頭骨バルジ、頭頂骨リフト、胆経の関連筋とポイント、肝経の関連筋とポイント

- ・筋力テスト:円回内筋、方形内筋、回外筋、母指対立筋、小指対立筋、腕橈骨筋
- ・第8回では、テクニック自体も高度なものになってきます。横隔膜、リンパ循環、内臓、特に大腸の状態を検査するテクニック、頭蓋テクニックを説明し、実技を行います。
- ・各筋の筋力テストでは、解剖、起始停止の触診、筋力テスト時の協力筋、関節への作用、臨床への応用を理解しながら、筋力テスト、筋機能障害に関与する因子の検査、ストレイン/カウンターストレイン、筋ストレッチ操作、筋膜リリースの方法の実技を行います。

第9回:1月17日(日)～頭蓋骨と顎関節の検査と治療/AKの経絡治療～

頭蓋テクニック、前頭骨内旋/外旋、グラベラ頭蓋障害、ユニバーサル頭蓋障害、顎口腔システム、顎関節の解剖、検査と治療、舌骨の検査と治療、骨盤、仙骨吸気/呼気障害、経絡に対するアプローチ:AKによる診断と治療法

- ・第9回では頭蓋骨テクニック、TMJ筋、舌骨筋の検査や治療方法を説明し、実技を行います。更に、AKによる経絡治療の方法を説明し、実技を行います。

第10回:2月21日(日)～AKクリニカルアプローチ～

AK臨床応用(腰部、頭頸部)と復習、アドバンスアプローチ

- ・最終回では、これまでのAKテクニックに関する質疑応答、これらのテクニックの臨床応用、身体への影響、バイオメカニクスなどを説明し、更にAKを深く理解できるようにします。さらに最新のアドバンステクニックを説明します。